

ポルトガルの旅①

萩原 卓

以前から一度訪れたいと思っていたポルトガル。念願かなって8月の夏休みを利用して訪れた。どの町も比較的小規模ながら、それぞれ特徴があり興味深く町巡りを楽しむことが出来た。3回に分けて紹介させていただきます。

(日程)

- 8月 4日 羽田 → フランクフルト経由リスボンへ リスボン泊
5日 オビドスへ 旧市街散策、午後ファティマへ 大聖堂等見学
その後コインブラへ コインブラ泊
6日 コインブラ観光 コインブラ大学へ 図書館、大聖堂等見学
午後ポルトへ ドンルイス1世橋、サンフランシスコ教会等見学
ポートワインの試飲など ポルト泊
7日 サンティアゴ・デ・コンボラテラへ大聖堂、旧市街等観光
観光後ポルトへ、ポルトの夜景散策 ポルト泊
8日 リスボンへ ロカ岬、シントラの王宮見学 夜ファドディナーへ
9日 リスボン観光 ジェロニモス修道院、サン・ロケ教会等見学
午後ケルース宮殿半日観光
10日 リスボン → フランクフルト経由羽田

8月 4日

ポルトガルへの直通便はない。今回は羽田からルフトハンザドイツ航空でフランクフルト経由でリスボンへ。

リスボン到着は深夜になる。

早速ホテルに直行する。明日からの旅に備えてゆっくり休もう。

今回の旅は、南から北へと移動する。

「ポルトガルの旅」とタイトルには書いたが、サンティアゴ・デ・コンポステーラへも足を延ばすので、ポルトガル・スペインの旅が正確だがまあご容赦いただくことにしよう。



8月 5日

今日は、オビドスに向かう。「谷間の真珠」と呼ばれ。歴代の王妃に愛された石畳の小さな町だ。ここは中世の城壁に囲まれた丘の上にある。



その昔、時の国王ディニス王が王妃イザベルが嫁いできた時に、この町をプレゼントしたという。

この美しく緑豊かな町を気に入った王妃はオビドスを直轄地としたそうだ。

それ以来、オビドスは歴代の王妃直轄地として栄えることになる。

オビドスは、多くの観光客で賑わっていた。左右に並んだ小さな店を見ながらメインのディレイタ通りを奥に進む。



コルク製品が有名とのことで、いくつかの店にはコルクのバッグや小物が所狭しと並んでいた。

最奥部まではすぐだった。

ここから城壁があり登ることができる。

高いところは、苦手。でもみんな登っている。よし、下を見ないで行こう。

城壁を上り詰めると、オビドスの町並みが一望できた。

好天のもとで住宅等の赤レンガの屋根が一層映えていた。



戻る途中、盛んに小さなものを勧めてくれる。よく見るとチョコのカップにリキュールのようなものが入っている。

この地では、「ジンジャーニ」というサクランボのリキュールがあり、これを小さなチョコレート製のカップに入れて楽しむことが人気となっていると聞いた。よし、ひとつもらおう。

「う～ん、甘口で飲みやすい、がかなりのアルコール度」、飲み過ぎ要注意だ。



街の中央にはサンタ・マリア教会があり入ってみる。壁にはアズレージョと呼ばれる青いタイルが壁一面に飾られていた。そういえば城門にもあったことを思い出した。

名残惜しいが次のファティマに行く時間だ。急いでバスに戻ろう。



ファティマは、オビドスとは全く雰囲気異なる町だった。

「ファティマの奇跡」で有名なところと聞く。早速調べてみる。

「ポルトガルの小さな町ファティマで起きた、カトリック教会が公認している、聖母の出現の一つ。何万もの群衆を前に太陽が狂ったように回転して見えたり、水源のないところから水が湧き、飲む者に奇跡的な治癒があったりしたことから、1930年現地管区レイリア司教によってこの出現は公認された。教皇庁により最初の聖母の出現のあった5月13日がファティマの記念日に制定され、歴代ローマ教皇が巡礼に訪れたり、この出現のメッセージに基づき世界の奉獻を行った。」—ウイキペディアより一部引用—
ポルトガル人にとってこの現象は誇りに感じているという。
20世紀の出来事だったこともあり、教会や周辺の建物も比較的新しい。

8月6日

昨日は、ファティマからコインブラに向かい、コインブラのホテル泊。

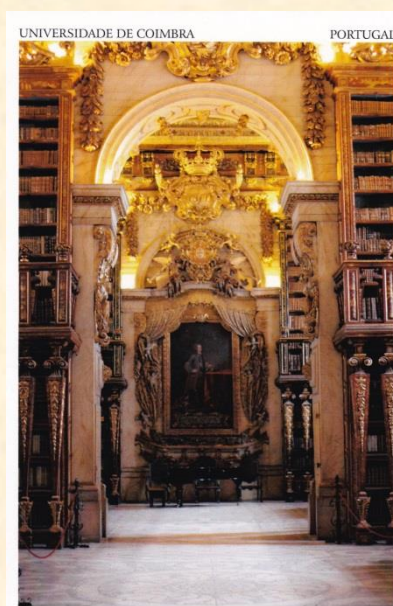
今日はコインブラ観光で、まずヨーロッパでも有数の歴史を誇るコインブラ大学を訪ねる。ここは2013年に世界遺産リストに登録されている。

丘の上のアルタ地区と、サンタ・クルス大聖堂やアルカゾヴァの王宮なども含まれている。



ここの美しい図書館も有名で、蔵書する16世紀から18世紀の書物は30万冊にも及ぶという。金箔塗りの美しい書棚に並べられていた。

「Batman(コウモリ)はいるの？」と館員に聞いたら驚いた顔をして首を縦に何度も振った。コウモリは古い書物につく虫を駆除してくれる。ただし、糞の始末は大変とのことだった。



コインブラ大学の学生は黒いマントを着ていた。記念写真を撮ってくれるということで、お願いします。観光客相手にアルバイトをしているような感じだった。



丘の上から見るコインブラの町は、モンデゴ川がゆったりと流れ、美しい町並みが広がっていた。

この日は、このあと旧聖堂を見学して、次の都市ポルトに向かう。